

米軍射撃訓練の 撤回を

福知山自衛隊駐屯地射撃場での米軍と軍属による射撃訓練に反対し、中止と撤回を求め「米軍くるな福知山市民集会」を1月14日に開催し、110人以上が参加しました。

米軍くるな福知山市民集会



1月14日中丹勤労者福祉会館

集会は、「米軍の実弾射撃訓練中止を求める福知山の会」と「米軍基地いらない京都府民」の主催で開催しました。府内各地を含め、大雪の中でしたが110人以上が参加しました。

集会では、主催者を代表して**福知山の会の奥井正美さん**（**福知山地労協議長**）が「市民が全く知らないというは問題。いかに危険か、私たちのとりくみで知らせ、中止を求めよう」とあいさつ。

連帯挨拶で**米軍基地建設反対丹後連絡会の近江裕之事務局長**は、「京丹後では交通事故ほどこで起こるかわからない状況。泣き寝入りもあった。共にがんばりましょう」とあいさつ。

福知山の会の水谷徳夫さん（**福知山平和委員会会長**）が経過を説明。「市に要請してきたが、国の専権事項だし情報は公開請求をしてくれ、心配だったら防衛省に行ってくれ」との無責任な対応だった。「市民への説明はなく、共同使用を許せば、米軍基地が広がることにつながる」と射撃訓練に反対しとりくみを強めると報告しました。

府民の会の片岡明事務局長（**京都平和委員会事務局長**）は、「京都の米軍基地はミサイ

ル防衛で米軍にとってきわめて重要な位置づけとなっている」「軍属が小銃を前に構えいつでも撃てる警備を住民が住むすぐ横でやる全国に例がない状況」「米軍属が警備を担当し、アクティブシューターと言い、外からだけではなく内からの事件も含め、抑えこむ訓練を求められている」と説明。「年間二十日間は長い期間でずっと続く。自衛隊も共同訓練に巻き込まれる可能性もある」「舞鶴を含め、北部一帯がミサイル防衛の最前線としていくもので、住民の安全安心をないがしろにするもの」と、取り組みの重要性を訴えました。

塩見卯太郎福知山市民会議員は市議会での取り組みを報告。「市民や議会に知らせないまま行った暴挙に強く抗議した。市長が市民の安全安心によりそった対応が不十分であることから、市議会として年末に全会一致で親切丁寧な対応や万一不具合があった場合などは強い姿勢で政府に求めることなどを決議した」と報告。

西脇郁子府会議員は、「知事は『防衛省は誠実に対応する。』と言っているが重大な誤り」「米軍の利用が固定・永続

化することは府民の安全安心からも容れられない」と報告しました。

集会は、アピールを採択（裏面参照）。

閉会挨拶で**府民の会共同代表の梶川憲さん**（**京都総評議長**）は、「自衛隊と異質なのが米軍」「二つの方向でのたたかいが重要。国に対して、全国とも連

帯し戦争する国を許さないというたたかい、そして、地位協定に守られて横暴する米軍に対し、命と暮らしを守るのは自治体の役割。自治体は抗議すべきで、全庁あげた対応が必要」と指摘しました。

当日の行動提起は以下の通り

- 京都の米軍基地と福知山自衛隊駐屯地での米軍人と軍属による実弾射撃訓練の問題についての学習を強めましょう。
- 府民、市民に問題点を知らせましょう。宣伝行動なども行いましょう。
- 署名を検討しとりくみます。
- 行動などについては今後具体化していきます。

発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称）米軍基地いらない京都府民の会
連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2ラポール京都5階
京都総評内 京都憲法共同センター気付
☎075-801-2308 fax075-812-4149
過去のニュースは、URL: <http://www.labor.or.jp/sohyo/xband-home.html>で見ることができます。

「米軍くるな福知山市民集会」アピール

米軍人と軍属が、福知山自衛隊駐屯地射撃場で昨年11月29日実弾射撃訓練をはじめました。今後、年4回、1回5日間、年間20日間、射撃訓練を実施するとしています。私たちは、住民の安全・安心を脅かし、二つ目の米軍基地をつくることとなる訓練の中止・撤回を求めます。

京丹後市にある米軍経ヶ岬通信所の米軍人と軍属が、福知山自衛隊駐屯地で実弾射撃訓練の実施を日本政府・防衛省に申し入れていることが判明したのは今年の8月頃でした。その後の防衛省の対応は、射撃場近くに数十軒ある「正明寺区」を除き、「室地区」の約30世帯を対象に説明会を開き、「自衛隊の訓練とさほど変わらない」と説明しただけで「同意」をとりつけ、府民、市民、自治体の意向をまともに聞くことなく、手続きを進めました。

昨年11月7日には京都府知事と福知山市長が、稲田防衛大臣に面談し要請しました。防衛省は、待っていたかのように、その翌日、府などに回答しましたが、驚くべきことに、その日に、日米合同委員会で福知山自衛隊基地射撃場を米軍と共同使用とすることを承認しました。政府や防衛省の住民・自治体無視はひどいものと言わざるを得ません。

京丹後市・経ヶ岬の米軍基地は、Xバンドレーダーを設置し、米軍がきわめて重要な施設と位置づけています。警備の兵力としてイラク戦争で悪名を馳せた民間軍事会社（シエネガ社）にM16ライフル銃を装備し、前に構えいつでも引き金を引ける姿勢の警備は、きわめて威圧的で、国内の米軍基地の中で京都だけとされています。民間人であることも合わせ、自衛隊とは全く異なります。

私たちは、以下の理由から米軍・軍属による福知山射撃場での実弾射撃訓練の中止・撤回を求めます。

- (1) 射撃訓練は、標的を撃つだけでなく、「テロリスト制圧」のような訓練も入っており、近隣の住民の不安を一層強くします。
- (2) 府内に「二つ目の米軍基地」を設置することとなり認めがたいことです。
- (3) 京丹後市で頻繁に事故を起こしている米軍人・軍属が、公私を問わず福知山市をはじめとした北部地域を往来することとなり、事件や事故につながり、市民の安全の面から憂慮すべきことです。
- (4) 米軍人・軍属はバスで、武器・弾薬は別車両で連日運搬するとしています。現在の米軍基地から武器・弾薬を、経ヶ岬から福知山を訓練期間連日往復することは、北部地域全体にとって危険です。

また、京都府と福知山市は、自治体の意向を聞く前に承認決定した防衛省に抗議すべきであり、実弾射撃訓練の中止・撤回を求めるべきです。

私たちは、引き続き府民に広く、米軍人・軍属による福知山での実弾射撃訓練の危険性・問題点を告発し、京都から「米軍基地撤去」の声と運動を広げていくことを呼びかけます。

2017年1月14日

米軍くるな福知山市民集会



会場の外は集会中に雪が積もりましたが、集会は熱気あるものとなりました。

